

特集

学校運動部活動と連携するクラブ



NPO法人楽スポあすか ＜奈良県高市郡明日香村＞



中学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒数減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力をもつ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動が成り立たなくなる現状があります。

このような中、外部指導者の活用も議論されるようになり、中学校運動部活動と総合型地域スポーツクラブの連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。



1. 教育文化課、教育委員会が「みなし部活動」を考案
→「楽スポあすか聖徳中学校卓球部」が始動
2. 外部指導者を派遣→専門的指導者の派遣により指導力不足を補う
3. 校長ら中学校側の理解を得て連携
→総合型クラブの活動が中学校部活動へと継続する環境が整う

1 中学校運動部活動との連携概要

〈経緯〉

- 生徒数が少ないため、部活動数が少ない上、専門的知識・技能を有する先生がいない
- 部活動に対する保護者の要望が強い
(卓球クラブの子どもが中学に進学しても卓球部がなく、子ども・保護者が部創設を要望)
- 社会的要因→少子化

〈目的〉

- ① 専門的知識・技能を有する外部指導者を派遣することによる部活動の充実・活性化
- ② 地域連携による学校教育活動・社会体育活動の充実
- ③ 先生方の負担軽減を図る

〈それまでの具体的取り組み〉

既存クラブ活動への外部指導者の派遣

2 取り組み内容

●部創設が困難な状況を踏まえ、クラブ側から卓球部創設を要望

子どもたちや保護者からの要望があっても、生徒数が少なくなっている状況では「教諭が少ない・部活を増やせない・子どもが分散される」といった現実には直面してしまいました。

そこで、明日香村教育文化課および教育委員会において、生徒数の減少などにより「子どもや保護者からの要望に応じた運動部の創設が困難で、既存の部活動であっても存続が危うい」などの課題をどうクリアすべきか、検討を重ね、平成28年度より「みなし部活動外部指導者派遣事業」が実施されることになりました。

同事業は「みなし部活動」という言葉通り、教員の不足から正式な部活動としては活動できない問題を解決するために考えられました。

このように、外部指導者を派遣することによって「部活の活性化・地域連携と開かれた学校・生徒のニーズに即した活動」につながると考えます。

「みなし部活動外部指導者派遣事業」での実施条件

- 種目は中学校体育連盟登録の競技種目であること
- 外部指導者は、生徒指導もできる人材(教員免許保持者が望ましい)
- 外部指導者の専門指導歴は3年以上
- 3名以上の部員
- 週2日(年間104回)以上の活動
- 1年以上継続して活動できるクラブ
- 学校の保険は適用外のためクラブのスポーツ安全保険に加入

以前からクラブの1活動団体である「卓球クラブ」から聖徳中学校に卓球部を創設してほしいという要望がありました。そこでクラブが、上記の条件が揃ったので「みなし部活動外部指導者派遣事業」として「卓球部」を申請しようという動きになりました。

●学校側の理解は不可欠

申請から認可されるまでは、比較的スムーズにいきました。中学校校長先生・教頭先生・教育文化課担当者・クラブ担当者が話し合いをし、卓球部の活動場所の確保などを協議するとともに、校長先生には中学校の中で先生方に理解を深めていただくよう働き掛けをお願いしました。

その甲斐があって一定の理解を得、平成29年5月、みなし部活動「楽スポあすか聖徳中学校卓球部」としてスタートしました。現在、中学生の部員数は6名で、うち楽スポあすか会員が5名です。

●元小学校教諭(現講師)が指導

みなし部活動は、聖徳中学校の部活動の規則に沿って活動します。指導には、「みなし部活動外部指導者派遣事業」の必須条件でもある「技術の指導だけでなく生徒指導ができる指導者」を満たすために元小学校教諭に就いていただいています。予定表の管理や保険加入など活動の全てのサポートはクラブで行っています。

●常時学校と連絡 大会時は外部指導者と学校職員が引率

クラブ担当者が学校の行事や校時などを学校と常に連絡を取り合って活動をサポートしているのですが、細かいところまで把握仕切れず困ることもあります。

楽スポあすか聖徳中学校卓球部の目標の一つに技量向上と公式戦での勝利が掲げられており、「楽な部活動」という認識にならないよう部員たちは目標をもって頑張っています。

大会時には外部指導者だけでなく学校側から必ず学校職員も引率してくださっています。

大会時の学校とクラブの役割分担は今のところまだ手探りの状態ですが、日々のクラブ活動で外部指導者が生徒指導も含めて指導しています。

3 クラブ児童だけでなく未経験者も参加 中学でのクラブ認知度高まる

みなし部活動卓球部が始動したことにより、クラブで卓球を頑張っている小学生が中学生になっても部活動として卓球を継続する環境が整ったことや、今まで卓球をしていなかった児童も中学校に入学してから始めることができる選択肢が増えたこと、そして何よりクラブの活動や取り組みを中学校の先生方に知ってもらうことができたことは、大変よかったと思います。また、家族の方が会員になられて子どもと一緒に卓球を始めるといった効果も生まれています。

4 地域への認知促進が課題 他部活との連携も目標

昨年5月からスタートしたばかりですので、卓球部の活動は、まだまだ広く知られていません。今後は、もっと地域の人にこの活動を知っていただいて、部員の頑張りを認めてもらい、みなし部活動として長く継続していきたいです。一方、中学校側で顧問とまではいかなくても部員と直接連絡を取るなどの役割を担う先生を配置していただけたら、もっと活動がスムーズにいくと思います。(現在は校長先生が担ってくださっています)

今後は、他の運動部、さらに文化部も含めてクラブと学校が連携して子どもたちをサポートするシステムを構築していきたいです。

(NPO法人楽スポあすか クラブマネジャー 檜垣 美穂)

5 取材した県担当者の感想 「地域の宝を地域が育てる物語を見届け続けたい」

今回、「みなし部活動外部指導者派遣事業」の取材をさせていただきました。部活動の問題は、全国での問題にもなっていると聞きますが、地域で考えれば必ず解決していくと思います。明日香村教育委員会の子どもに対する理解ある気持ちが新しい仕組みを導入し、総合型地域スポーツクラブの活動を学校側が理解することで、さらに地域がつながっていく姿は、総合型地域スポーツクラブが目指す姿だと思います。地域の実情に応じたスポーツ環境を住民と行政が協働して作っていくためにも総合型クラブの必要性を感じました。スポーツは人の心を動かします。そして人の心をついにまとめてくれます。卓球を練習している子どもたちの姿を見て、地域の宝を地域が育てる物語が、この先どの様に続くのかを見届けたい気持ちになりました。

(奈良県クラブアドバイザー 川崎 香織)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成25年3月10日設立(法人格取得平成29年10月31日)

所在地 奈良県高市郡明日香村川原91-3

運営 会員数627名(平成29年12月現在)

予算規模 2,000万円(平成29年度)

特徴 「楽しもう！スポーツ！」を合い言葉に、子どもから高齢者までライフスタイルに合わせて楽しめるスポーツクラブです。スポーツや文化活動を通じて、行政や学校、関係機関との連携を密に、子どもの体力向上や青少年の健全育成、高齢者の生きがいづくり、多世代間交流など、元気な村づくりを目指しています。

連絡先 〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-3

電話番号 0744-54-2810

URL <http://tanospo.club/>



部活動の様子



外部指導者の松本さんと楽スポあすか聖徳中学校卓球部の部員